

地域美産研究・探訪会ニュース No.41

発行：平成 18 年（2006）10月18日

第41回催事 大阪の美産会員 橋本 完さん企画の大阪美産研究・探訪会Ⅰ

『日本の近代医薬発祥の地・大阪道修町に薬種問屋の歴史・文化美産を訪ねて、大阪再生の魅力づくりを考える』

研究会：11月22日（水）夕方、探訪会：11月23日（木・祝日）



コニシ（旧小西儀助商店記念館）

大阪の発展は、7・8世紀の孝徳・聖武天皇による難波津の入口、上町台地の“難波の宮”造営に端を発して、太閤秀吉の大阪城築城期の町割り整備、江戸幕府の堀川開削、島之内の開発、西船場造成を伴う「天下の台所」づくりをへて、今日見る「水都大阪」に繋がります。その一郭を担う「道修町」は、太閤秀吉の街割り整備により誕生した町筋。江戸時代には中国・オランダ等からの薬を一手に扱う「薬種中買仲間」の店が並び、我国に入る薬は一旦道修町に集まった後、全国に流通するルートが形成されました。このような歴史を背景に、現在も大手製薬会社の本社が多く存在し、全国で流通する薬剤の半分を取引する町に発展しました。

道修町は、日本近代医学の祖、緒方洪庵（1810～1863）開校の「適塾」が遺る町としても有名。福沢諭吉、大島圭介、橋本左内、大村益次郎等がここに学び、その後「適塾」は「大阪大学」へ発展。

道修町がある北船場は、大阪の凜とした文化と伝統を誇る地域で、上質な大阪弁を伝える土地柄で、22日の研究会では道修町で暮らし、その文化、伝統、言葉遣いの継承運動に立ち上がって大活躍の清水路子さんにお話を伺います。



研究会後の交歓会は、清水さんのお父さんが道修町に拓いたお店「彩食館・門」で行い、肩の凝らない雰囲気の中で、清水さんを囲んで「裏話」を含めて伺う予定。探訪会の当日は、道修町の護り神、少彦神社の年に一度の「神農祭」の日。その賑わいを味わいながら「道修町の美産たち」訪ねます。

企画・案内



中。

橋本 完；昭和37年（1962）大阪生。ニューヨーク Pratt Institute でモダニズム建築の師 W.グロピウスの愛弟子、J.ジョハンソンに近代建築を学び、帰国後上田篤都市建築研究所で大学、博物館等の設計とまちづくり計画に従事後、現在はアトリエまほろ主宰。芸術を基に、建築とまちづくりの新しい価値喚起のため、アート・インキュベータを提唱。1995年大阪新世界で「タワーアート in 通天閣」展主催。2003年より「匠が創る生活空間」のテーマを基に和魂和オブジェクトを提唱し活躍中。

特別講師



清水 路子；伝統を守るなにわの会・代表。大阪で生まれ育ち、道修町で40年以上にわたり暮らしてきたことから、昭和58年（1983）7月「なにわことばの集い」を結成、この集いから現在の会が誕生。古きよき難波・船場の伝統と文化を次代に伝えるため、放送番組などの大阪弁指導やNHK「ラジ

才深夜便」などを通じて活動中。

第 41 回催事 大阪美産研究・探訪会 I

「日本の近代医薬発祥の町、大阪道修町の美産研究・探訪会」

第 1 部：研究会「近代医薬発祥の町・大阪北船場道修町の歴史と文化を知る」

 中央公会堂の東隣は、「安宅コレクション」で有名な東洋陶磁美術館（中国・朝鮮陶磁を中心に国宝 2 点と重要文化財 13 点所蔵）など、文化施設豊富な地区。立ち寄りお勧め。	日 時	平成 18 年（2006）11 月 22 日（水） 17：30～19：30
	研 究 会 場 所	大阪市中央公会堂 2 階 第 6 会議室 17:15 までに到着してください
	研究会場の住所	大阪市北区中之島 1-1-27 (Tel：06-6208-2002)
	交 通 機 関	東海道新幹線「新大阪」～大阪市営地下鉄御堂筋線「天王寺行き」、「なかもず行き」などに乗車で 10 分～「淀屋橋」下車、1 番出口から徒歩約 5 分。
	講 演 者 と 内 容	橋本 完：北船場の歴史と風景 清水路子：医薬の街の素顔と文化・伝統
	参 加 人 数	25 名
	参 加 費	3 ページ参照
	遅 刻 等 の 連 絡	090-8827-9301（橋本） 080-3003-5277（福原）

第 2 部：交歓会「船場の“ばんざい”料理と酒と、清水路子さんとの会話を楽しむ」

北船場道修町の「彩食館・門」 船場の「ばんざい」に近い旬の品とそれに合うお酒を各種取揃え。 父親が開店の珈琲「門」が前身	日 時	11 月 22 日（水）20：00～22：00
	お 店 の 名 前	彩食館・門
	料 理 と 飲 物	船場の「ばんざい」と適量の酒ビールなど
	参 加 人 数	15 名。
	参 加 費	3 ページ参照
	住 所 と 電 話	道修町 3 丁目 3-12（06-6231-8509）

第 3 部：探訪会「大阪道修町を歩いて、近代医薬発祥の街の歴史と文化を肌で学ぶ」

日 時	11 月 23 日（木・祭日）10：00～15：30（雨天決行）
集 合 時 間 ・ 場 所	9:45 am。大阪市中央公会堂の東正面玄関（時間厳守）
探訪コース（予定）	三休橋筋を南下→少彦名神社→道修町資料館→御霊神社→生駒ビル→銅座跡→適塾→大阪市立愛珠幼稚園など。
案 内 と 解 説	橋本 完、ほか
参 加 人 数	25 名
探 訪 会 参 加 費	3 ページ参照
個 人 費 用 負 担	昼食、有料訪問先入場料などの現地費用。
昼 食	橋本さんが推奨店を選択中。
遅 刻 等 の 連 絡	090-8827-9301（橋本）、080-3003-5277（福原）

交通手段とホテル等の手配： ご参加の方は、手配作業も旅の楽しみの一つとして、ご自身で、又はお好みの旅行代理店などを使って、ご手配下さい。
お困りの場合は事務局に相談。

第 41 回催事：大阪美産研究・探訪会 I 参加申込書

記入日：____年____月____日

① 11 月 17 日（金）迄にこの申込書をメール、FAX（03-3407-5247）か郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
住 所	〒				
生年月日	大正/昭和（西暦）年 月 日				
会員資格	① 一般 ② 会員 ③ 賛助会員 ④ 特別賛助会員				
Tel(自宅)		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			
②会員の家族会員は2名まで、 ③賛助会員・④特別賛助会員の家族・法人は1名まで、特別割引料金で参加できます。					
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			

① 参加記入欄（該当金額欄に○を付けて下さい）

	1 研究会	2 門・交歓会	3 探訪会	全参加料金計
会員	1,500	5,000	1,500	8,000
家族会員（1名分）	1,500	5,000	1,500	8,000
賛助会員	1,000	5,000	1,000	7,000
賛助会員、家族か法人（1名）	1,000	5,000	1,000	7,000
特別賛助会員	0	5,000	0	5,000
特別賛助会員家族か法人（1名）	0	5,000	0	5,000
一般参加者	3,000	5,000	3,000	11,000
* 学生と地元関係者	1,500	5,000	1,500	8,000

* 当会の活動が学生と訪問先の地域活性活動に貢献するよう、特別参加費枠を設定。

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、**指定振込口座（みずほ銀行青山支店普#2341030, パブリックアート研究所）**に貴方の参加料金を**振込料自己負担**で振り込み。
3. 振込み無き場合は貴方の参加枠を喪失します。
4. 振込済料金払戻し；主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
5. 申込締切日：11 月 17 日（金）
6. 探訪会当日の傷害事故補償：美産会が費用負担する損保ジャパン「レクリエーション保険」内で補償。

② 貴方の振込金額（上欄○印金額の合計記入）： ￥_____

地域美産会「新規入会/継続入会申込書」・「平成18年度年会費振込書」

今期も半年経過したので、新規会員のみ今期年会費（来年3月迄の年会費）半額に減額。

記入日： 年 月 日

このフォームは新規入会者と、入会済会員で今期の会員継続希望する両方の方々に記入頂くフォームです。記入済フォームはFAX（03-3407-5247）か郵送で返送。なお現会員で、今期年会費を9月末迄に未納の会員は資格を喪失し、再入会には入会金が必要です。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
住 所					
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日				
Tel. (自宅)		Fax			
Tel. (携帯)		e-mail			
家族・法人会員登録欄（2名登録可）。賛助会員・特別賛助会員は、家族又は法人1名登録可。					
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 月 日				
前記の「会員の種類」を参考に、 入会希望の水色欄に○印を記入。	入会金	今期（来年3月限、新規会員限）会費			
	入会時のみ	e-mail 会員		郵送会員	
個人会員	6,000		3,000		4,000
家族会員 個人会員と2名まで	7,000		4,000		5,000
賛助会員 家族又は法人1名登録可	3,000		1,500		2,000
特別賛助会員 家族又は法人1名登録可	0		0		0

貴方の払込金額（次の項目を確認し払込金額を記入・算出してください）

- (1) 入会金：¥ _____
- (2) 年会費（どちらかを○で選択）：
- ① e-mail 会員；¥ _____ 又は、 ② 郵送会員；¥ _____
- (3) 賛助・寄付金；
- ① 個人会員（金額は自由です） ¥ _____
- ② 賛助会員（5万円～9万円まで） ¥ _____
- ③ 特別賛助会員（10万円以上） ¥ _____

(4) 会員資格「賛助会員、特別賛助会員」の表記・非表記の選択

寄付金という性質上、あなたは今後配布される名簿・書類などに「賛助会員、特別賛助会員」の表記を希望されますか？ ○印を付けてください。

①はい ②いいえ（いいえを選択された方は「会員」と表記されます。）

貴方の振込総額 = 上記(1)+(2)+(3)で算出； ¥ _____

当会より入会承認の連絡後、下記口座に金額を振込んで下さい（振込料自己負担）。

【 みずほ銀行 青山支店 普通預金 #2341030 パブリックアート研究所 】

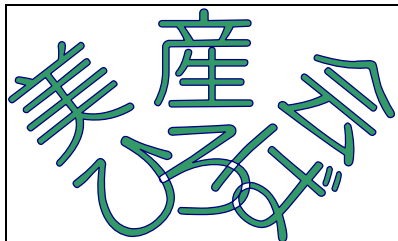
第4年度 地域美産研究・探訪会 催事予定表

平成18年（2006年）10月18日現在

2006年（平成18年）					
通 算	月	日	曜日	催 事	企画者（敬称略）
34	4	1	土	国営昭和記念公園特別見学会	山野辺 信治／ 高橋 良孝
35	5	17 20	水 土	京都錦市場の美産研究会 京都錦市場の美産探訪会	田中 哲
36	6 7	22 1	木 土	札幌の最新アート系美産研究会 札幌の最新アート系美産探訪会	八代克彦 後藤 元一
37	7	19 22	水 土	「パブリックアート最近の趨勢」研究会 「ミューザ川崎のパブリックアート」探訪会	藤嶋 俊会
38	8	23	水	新渡戸稲造『武士道』英語版読書会－1	杉村 荘吉
39	9	30	土	鎌倉の美産－4、研究・探訪会、	岡林 馨
40	10	21	土	東京近郊、秋の野草研究・探訪会	高橋 良孝
41	11	22 23	水 木・祝	大阪道修町、医薬の街歴史美産研究会 大阪道修町、医薬の街歴史美産探訪会	橋本 完
42	12	16	土	新渡戸稲造『武士道』英語版読書会－2	杉村 荘吉
2007年（平成19年）					
43	1	17 20	水 土	庶民信仰の石仏美産研究会…日暮里～田端 庶民信仰の石仏美産探訪会	外山 晴彦
44	2	14 17	水 土	さいたまの美産研究会 さいたまの美産探訪会	伊豆井 秀一
45	3	7 10	水 土	神奈川美産研究会 神奈川美産探訪会	藤嶋 俊会
46	3	24	土	年度末特別講演会／交歓大パーティ	

*  は終了。

* ご注意：上記は都合により期日と内容が変わる場合があります。



鎌倉美産会へのお褒めとお礼のお便り

今回の「鉢の木の家」では、本当に多大なるご尽力、お骨折りを頂きまして、無事に公演させて頂くことができました。
不安材料のいっぱいある中で、踏み切って下さったことには、何度お礼を申し上げても足りないくらいです。

仕事を越えて共感して下さったことに、心より感謝しております。私も鼓の今井さんも鎌倉で、それも武家膳料理と共に白拍子の歌舞を披露させて頂く機会ほど、ふさわしい環境はないわけで、本当に学ぶこと、得ることも多かったです。また、来て頂きましたお客様とも、ご縁を頂き、充実した一日でした。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

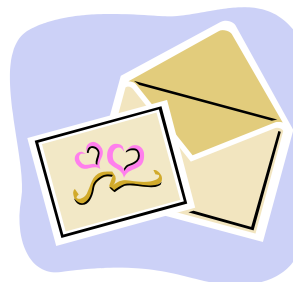
桜井真樹子

皆様にお喜び頂けましたこと、主催者、関係者の方々と同様に嬉しく存じます。
そして、鎌倉の持つ奥深さを灯台下暗しながら感じるイベントでした。また、お若い演奏者の礼儀正しい振る舞いにも、すがすがしさを感じたのは私だけではないはずです。これからも、皆様に愛される鉢の木造りをと心がけます。変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

鉢の木社長 藤川 譲治

岡林 馨さん企画の鎌倉美産会を終えて

「すばらしい鎌倉美産会が大成功のうちに終了し、お祝い申し上げます。
綿密な準備と周到な仕掛けの賜物と感じました。きっと、美産会の歴史に残る、催事となったのではないのでしょうか」。これは9月30日に30名の参加者を集めて行われた鎌倉美産会の翌日、或る会員から頂戴したメールの一部です。お褒めとお礼の便りは、上記のように鎌倉の関係者を含む参加者の方々からも沢山顶戴して、大変喜んでます。



鎌倉美産会Ⅳの当日は、午前中の研究会では、鎌倉武家社会に生きた女性たちの、当時における社会的地位や影響性の解説を聞き、午後の探訪会では、関連寺社に残る史跡を訪ねてそれらの女性たちの実存性の説明を聞きました。午後4時から、「鉢の木会」だけの参加者6名も加わり総勢30名となりました。鎌倉精進料理の名舗「鉢の木」では優雅な大広間で、桜井さんの「白拍子」の舞謡を鼓の演奏とともに観賞しました。続いて鉢の木藤川社長の説明を聞きながら「鎌倉武家が食した膳」を当時の「濁り酒」の相伴で体験するという、鎌倉の地でなければ絶対に実現できないという、質の高い企画となりました。

このような企画づくりとその実践と、それを可能にする企画演出者の誕生が、その地方ならではの新しい魅力を創出して多くの人々を誘引し、地域の経済を潤していく。これは地域美産会活動の大きな目的の一つでも有りますので、今回の岡林さんの成功は私にとっても大変嬉しいことでした。岡林さん、桜井さん、鉢の木の藤川社長やご協力いただいた関係者の皆さん、そして参加者の皆さんに、心よりお礼と感謝を申し上げます。

世話人会代表、杉村荘吉

事務局だより 皆さんの美産会に関するご意見、ご希望、また探訪会に参加しての感想文、また日々の暮らしの中で感じたことなどを、「美産会ひろば」にお便りをお寄せ下さい。投稿は1ページに記載の地域美産会 事務局宛に郵送・メール・FAXなどで、お送りください。地域美産研究・探訪会のホームページ <http://www.publicart.co.jp> と、ブログ <http://bisan.seesaa.net> もご覧下さい。

事務局 福原